日医発第1042号（地域）

令　和　４　年　９　月　２　日

都道府県医師会

担　当　理　事　殿

公益社団法人　日本医師会常任理事

細　川　秀　一

（公印省略）

ＮＢＣＲ対策推進機構　第２回「医療従事者・消防職員等のためのCBRNE災害医療対策講習会」の開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、ＮＢＣＲ対策推進機構による第２回「医療従事者・消防職員等のためのCBRNE災害医療対策講習会」が開催されることとなりました。

本講習会には、本会より小職が講師の一人として参画する予定となっております。

講習会の開催日および締切日は、下記のとおりです。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、貴会災害医療担当者等への周知方につきご高配賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

ＮＢＣＲ対策推進機構

第２回「医療従事者・消防職員等のためのCBRNE災害医療対策講習会」

開催日：令和４年１２月１８日（日）　９：００～１７：００

締切日：令和４年１１月２５日（金）

定員　会場：１０名　オンライン：１００名

費　用：ＮＢＣＲ対策推進機構の個人正会員：１．５万円

ＮＢＣＲ対策推進機構の団体正会員：１万円

非会員：２万円

場　所：エピオス　セミナー・ルーム

東京都江東区富岡１－２６－１５飯田ビル

令和４年　８月　３日

公益社団法人　日 本 医 師 会
常 任 理 事　細　川　秀　一　先生

特 定 非 営 利 活 動 法 人
Ｎ ＢＣＲ 対 策 推 進 機 構
会　　長　　片　山　虎之助
理 事 長　　井　上　忠　雄

第２回「医療従事者・消防職員等のための CBRNE 災害医療対策講習会」（案）
―医療従事者・消防職員等の特殊災害対策担当者が知っておくべきこと―
の都道府県医師会への広報についてのお願い

謹啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、弊機構は、第２回「医療従事者・消防職員等のための CBRNE 災害医療対策講習会」（案）―医療従事者・消防職員等の特殊災害対策担当者が知っておくべきこと―」を別添のとおり計画いたしました。つきましては、本講習会について都道府県医師会への広報をご配意賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

別添：第２回「医療従事者・消防職員等のための CBRNE 災害医療対策講習会」（案）

問合せ先：石原雅之、阿部剛士、益田亮介
電 話：03－5829－6187
F A X：03－5829－6197
E－mail：info@nbcr-taisaku.com

第２回「医療従事者・消防職員等のための CBRNE 災害医療対策講習会」（案）

－医療従事者・消防職員等の特殊災害対策担当者等が知っておくべきことー

（1 級認定コース・日医生涯教育制度 3.5 単位認定）（申請中）

主催　　ＮＰＯ法人　ＮＢＣＲ対策推進機構

後援　　公益社団法人　日本医師会（申請中）、全国消防長会（申請中）

開講（オンライン参加及び会場参加）のご案内

世界ではあらゆるところで、特殊な災害と言われる地震や台風、山火事、航空機事故、更には爆発物などを使用したテロなど多くの事故や事件などが多発しております。これらの特殊災害は、我が国においても同様に生起しており、福島の原発事故を始め、九州や中国地方の集中豪雨による水害、最近の森林火災を始め、化学物質による災害や放射性物質による災害、或いは現在流行・拡大している新型コロナウイルス等の感染症によるバイオ災害など幅広い概念に基づく特殊な災害が我々の身近に迫っております。また、平成 16 年に成立した国民保護法で想定している武力侵攻事態や緊急対処事態なども徐々に現実的な脅威となりつつあり、21 世紀の初頭の今日では「何が起るか分からない」時代、「まさか」の時代に直面しております。

こうした現代の危機や災害に直面して、国や地方自治体、或いは一般市民までもが直ちに備えなくてはなりませんが、特に被災者の救命・救急等に当たる DMAT/JMAT の方々やその他の医療従事者や消防職員等にとっては、その任務は益々重要になって来ております。特に、特殊な災害の救急・救命に当たる医療従事者・消防職員等には、その概念も幅広い上に、専門的な知識と器資材が必要であり、十分な教育・訓練が要求されますが、日本では事象ごとに十分な備えが出来ているとは言えません。

この度、弊機構では、このような動向に鑑み、今後、日本が直面するであろう可能性の高い特殊な災害の脅威に対処するため、特に、救急医療に関し、日本の各分野の第 1 人者としてご活躍中の先生方にお願いして、別紙のような、第２回「医療従事者・消防職員等のための CBRNE 災害医療対策講習会」－医療従事者・消防職員等の特殊災害対策担当者等が知っておくべきことーを計画・開講することと致しました。尚、この度も新型コロナウイルスの全国的な流行拡大の状況も考慮して、オンライン受講を主体に講習会を実施することに致しました。

特に、今回の講習会では、救命・救急医、産業医、を始め、災害時に出動する DMAT や JMAT の医療従事者と消防職員等を対象に、ＣＢＲＮＥ災害対策の現場対応に焦点を当て、これらの災害事態に対する対処能力の向上が図れる講習会を企画いたしました。

奮ってご参加いただきますようご案申し上げます。

令和４年８月　吉日　　NPO 法人　NBCR 対策推進機構

会　　長　片　山　虎之助

理 事 長　井　上　忠　雄

別紙

第２回「医療従事者・消防職員等のためのＣＢＲＮＥ災害医療対策講習会」（案）

－ 医療従事者・消防職員等の特殊災害対策担当者等が知っておくべきこと －

（1 級認定コース・日医生涯教育制度 3.5 単位認定）（申請中）

主催　　ＮＰＯ法人 ＮＢＣＲ対策推進機構

後援　　公益社団法人　日本医師会（申請中）、全国消防長会（申請中）

■　趣 旨

世界ではあらゆるところで、特殊な災害と言われる地震や台風、山火事、航空機事故、更には爆発物などを使用した事件・事故などが多発しております。これらの特殊な災害は、我が国においても同様に生起しており、福島原発事故、集中豪雨による水害、山火事、化学物質による事故或いは現在流行している新型コロナウイルスなどのバイオ災害など幅広い特殊な災害が身近に生起している。また、平成 16 年に制定した国民保護法で想定している武力侵攻事態や緊急対処事態なども徐々に現実的な脅威になりつつあり、21 世紀の初頭は何が起きるか分からない時代、「まさか」の時代に直面しつつある。こうした現代の危機や災害に直面して、国や地方自治体は勿論、一般市民までもが備えなくてはなりませんが、特に被災者の救命・救急に当たる医療従事者・消防職員等にとっては、その任務は益々重要になってきており、専門知識や器資材、これを使っての教育・訓練が重要視されております。

このような動向に鑑み、今回の講習会では、救命・救急医、産業医、を始め、災害時に出動する DMAT や JMAT 等の医療従事者と消防職員等の皆様を対象に、別紙の様なカリキュラムで CBRNE 災害対策の現場対応に焦点を当て、日本の夫々の分野で活躍中の第１人者の講師の先生方に２回目の講義して戴きます。奮ってご参加頂きますようご案内申し上げます。

■　講習対象者

救命・救急医、産業医、DMAT 及び JMAT の先生方、医療従事者、保健所職員、消防職員等

■　認定証発行

講習修了時認定試験を行い「特殊災害対策医療者認定証（１級）」を発行し当機構での認証を行います。

■　講習日時等

講 習 日 時	受 付 締 切	定　員
令和４年 12 月 18 日（日）９：００～１７：００	11 月 25 日（金）	・オンライン受講：１００名 ・会場受講：10 名

■　細　部

※　カリキュラム：付紙－１

※　申込：オンライン受講の場合は E メールにて、弊機構事務局宛＜info@nbcr-taisaku.com＞にお申込みください。

申込方法は、E メールタイトル「12 月ＣＢＲＮＥ災害対策講習会申込」、メール本文に、①オンライン受講か会場受講のどちらか一方を明記。②受講者氏名（ふりがな）、③所属、④請求書あて名、⑤講義資料郵送先となる郵便番号・住所・建物名・受取人名、⑥電話番号、⑦E メールアドレス、⑧弊機構の会員有無を記載、⑨弊機構からの次回講習会案内 DM 配信の希望有無ならびに DM 受信用 E メールアドレスの記載をお願いします。会場受講の場合は、E メール・FAX（FAX 申込書　付紙－２）どちらからでも申込可能です。

※　場所：〒135-0047　東京都江東区富岡１－26－15 飯田ビル　（株）エピオス　セミナールーム

※　締切：先着定員になり次第申込を締め切り。

オンライン受講者・会場受講者の合計が 30 名以下の場合は延期し順延の通知。

※　費用：2 万円（個人正会員：1.5 万円、団体会員：1 万円）　会場受講・オンライン受講とも同額

付紙－１

第２回「医療従事者・消防職員等のためのCBRNE災害医療対策講習会」カリキュラム（案）

日	時　間	科　目	講　師
令和4年12月18日(日)	09:00～09:10	※　オリエンテーション　NBCR対策推進機構　理事長（元陸上自衛隊化学学校長） 工学博士　井上　忠雄	
	09:10～09：55	1　災害と医療 ―救命・救急医等の特殊災害対応の重要性―	日本医師会　常任理事 細川　秀一　先生
	09：55～10:40	2　CBRNE災害への医療対策の取り組み ―災害時における特殊災害対策の重要性―	厚生労働省DMAT事務局長 小井土　雄一　先生
	10：40～11:10	休　憩（30分）機構推薦優良機材紹介２社	
	11:10～11：55	3　最近の化学災害と医療対策	Medock　総合健診クリニック顧問 （元自衛隊中央病院内科部長） 箱崎　幸也　先生
	11：55～12:50	休　憩（昼　食）	
	12:50～13:35	4　最近のバイオ災害の動向 ―新しいバイオ災害に医療はどう向かうか―	大島記念･嬉泉病院　内科部長 藤井　達也　先生
	13:40～14:25	5　最近の放射線災害と医療対策 ―放射線被曝者の医学的対応―	東京医療保健大学大学院　教授 明石　真言　先生
	14:25～15:10	6　核災害と医療対策 ―核被害者の診断と治療―	日本赤十字社　長崎原爆病院 名誉院長 朝長　万左男　先生
	15:10～15:40	休　憩（30分）機構推薦優良機材紹介２社	
	15:40～16:25	7　爆発物災害と医療対策	杏林大学医学部主任教授 高度救命救急センター長 山口　芳裕　先生
	16:25～16:35	休　憩（10分）	
	16:35～16:55	8　試　験	
	16:55～17:00	修了証　ならびに　認定証付与	

＊　**会場、講義の順序、講師につきましては、止むを得ない事情により、変更する場合がございますので、ご承知おきください。**

付紙－２

「医療従事者・消防職員等のための CBRNE 災害医療対策講習会」会場受講専用申込書

(テレワーク対応のため、E メールからの申込をお願いします)

申込締切	令和 3 年 11 月 25 日（金）		
申込先 FAX	０３－５８２９－６１９７		
申込者（所属・団体名、取り纏め担当者氏名）			
受講者 ※ 楷書にて分かりやすくご記入下さい。	氏　名（ふりがな）	所　　属	職　　名
	（　　）		
	（　　）		
所 在 地	〒		
連 絡 先	E メールアドレス（必須）： 電話番号（必須）：　　FAX 番号：		
会員の方は 〇でお囲みください	NBCR 対策推進機構　：　個人正会員　・　団体会員		
要望事項 請求書の宛名等			

●会場受講場所　：㈱エピオス　セミナー・ルーム

〒135-0047　東京都江東区富岡１－26－15　飯田ビル（「地下鉄 門前仲町駅」から徒歩約８分。）



連絡先　NBCR 対策推進機構　TEL:03-5829-6187　E メール:info@nbcr-taisaku.com　担当：阿部剛士